

## CF計算書④ 営業CF計算書 基本例題

### 【基本例題 CF計算書①】

Q. 営業活動によるキャッシュフローを求めよ。

損益計算書（要約）	
売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
(うち減価償却費)	(200)
営業利益	300
受取利息	10
支払利息	30
経常利益	280
税引前当期純利益	280
法人税等	150
当期純利益	130

貸借対照表（要約）					
資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	245	仕入債務	500	-90
売上債権	1,800	-55	短期借入金	1,100	0
棚卸資産	500	50	長期借入金	700	0
土地・建物	1,200	-200	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	0	利益剰余金	600	130
資産合計	4,100	40	負債・純資産合計	4,100	40

\* 増減は対前期比

## 【これを正しく上から埋めていけたらOK】

① 税引前当期純利益	スタートは税引前当期純利益！ここから色々と調整してCFを求める。
② 減価償却費 (③ 貸倒引当金の増加額)	<b>非資金費用の調整</b> → 実際にはキャッシュは流出していないので足し戻して調整
④ 営業外収益 ⑤ 営業外費用 (⑥ 有形固定資産の売却損益)	<b>営業活動以外の損益の調整</b> (小計では純粋な営業活動のみを見たいから！) → 営業外収益はマイナスし、営業外費用はプラスして調整
⑦ 売上債権の増加額 ⑧ 棚卸資産の増加額 ⑨ 仕入債務の増加額 (⑩ その他流動資産の増加額) (⑪ その他流動負債の増加額)	<b>運転資金に関する調整</b> → 資産サイドの売上債権(売掛金)や棚卸資産の増加はマイナスし、負債サイドの仕入債務(買掛金)の増加はプラスして調整
小計	<b>その他の調整</b> → 運転資金の調整と同じ考え方
① 利息の受取額 ② 利息の支払額 ③ 法人税等の支払額	<b>本来の(純粋な)営業活動によるキャッシュの動き</b> (=真の営業CF!?) <b>営業CFにも投資CFにも財務CFにも区分されないキャッシュの動きを調整</b> → 利息の受取額はプラス、利息/法人税等の支払額はマイナスする
営業活動によるCF	以上を合計して営業CFを求める！

売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
(うち減価償却費) ② (200)	
営業利益	300
受取利息	③ 10
支払利息	④ 30
経常利益	280
税引前当期純利益	① 280
法人税等	⑩ 150
当期純利益	130

① 税引前当期純利益	280	
② 減価償却費	200	実際はキャッシュアウトしていないから+
③ 営業外収益	-10	営業活動以外の収益・費用は
④ 営業外費用	30	逆方向に+-して調整
⑤ 売上債権の増加額	55	運転資金の調整
⑥ 棚卸資産の増加額	-50	BSをイメージして資産サイドの増加は-
⑦ 仕入債務の増加額	-90	負債サイドの増加は+で調整
小計	415	
⑧ 利息の受取額	10	営業CFにも投資CFにも財務CFにも
⑨ 利息の支払い額	-30	区分されないキャッシュの動きを調整
⑩ 法人税等の支払額	-150	法人税等の支払は純粋にキャッシュを減らす
営業活動CF	245	

資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	245	仕入債務	500	⑦ -90
売上債権	1,800	⑤ -55	短期借入金	1,100	0
棚卸資産	500	⑥ 50	長期借入金	700	0
土地・建物	1,200	-200	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	0	利益剰余金	600	130
資産合計	4,100	40	負債・純資産合計	4,100	40

\* 増減は対前期比

	【資産の部】	【負債の部】
流動資産	現金・預金 = キャッシュ 売掛金 = 売上債権	買掛金 = 仕入債務 流動負債
固定資産	棚卸資産	固定負債
		【純資産の部】

損益計算書 (要約)	
売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
(うち減価償却費) ②	(200)
営業利益	300
受取利息 ③	10
支払利息 ④	30
経常利益	280
税引前当期純利益 ①	280
法人税等 ⑩	150
当期純利益	130

  

①税引前当期純利益	280
②減価償却費	200
③営業外収益	-10
④営業外費用	30
⑤売上債権の増加額	55
⑥棚卸資産の増加額	-50
⑦仕入債務の増加額	-90
小計	415
⑧利息の受取額	10
⑨利息の支払い額	-30
⑩法人税等の支払額	-150
営業活動CF	245

  

貸借対照表 (要約)					
資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	245	仕入債務	500	⑦ -90
売上債権	1,800	⑤ -55	短期借入金	1,100	0
棚卸資産	500	⑥ 50	長期借入金	700	0
土地・建物	1,200	-200	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	0	利益剰余金	600	130
資産合計	4,100	40	負債・純資産合計	4,100	40

\* 増減は対前期比

⑧利息の受取額 10

⑨利息の支払い額 -30

⑩法人税等の支払額 -150

投資CFと財務CFは？

減価償却費の分だけ  
土地・建物の簿価が減っている！  
有価証券の動きもない！

投資活動CFは0

借入金が増減なし  
配当金の支払なし

財務活動CFは0

★3つのCFの和は 245

**重要!** 3つのCFの和  
= 現金・預金の増減額

メモ 配当がない場合、  
当期純利益 = 利益剰余金

ポイント BSのすべての増減項目と  
PLの営業利益以降の項目を  
すべてチェック済みのはず

# CF計算書⑤

## 投資CF計算書

### 基本例題

## 【基本例題 CF計算書②】

Q. 営業活動によるCFと投資活動によるCFを求めよ。

売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
（うち減価償却費）	(200)
営業利益	300
受取利息	10
支払利息	30
経常利益	280
税引前当期純利益	280
法人税等	150
当期純利益	130

資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	15	仕入債務	500	-90
売上債権	1,800	-55	短期借入金	1,100	0
棚卸資産	500	50	長期借入金	700	0
土地・建物	1,200	20	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	10	利益剰余金	600	130
資産合計	4,100	40	負債・純資産合計	4,100	40

\* 増減は対前期比

## 【投資CFの基本構成】

①有形固定資産の売却収入 +	有形固定資産の売却は投資CFの増加要因
②有形固定資産の取得支出 -	有形固定資産の取得は投資CFの減少要因
③投資有価証券の売却収入 +	投資有価証券の売却は投資CFの増加要因
④投資有価証券の取得支出 -	投資有価証券の取得は投資CFの減少要因
<b>投資活動CF</b>	以上を合計して投資CFを求める



投資CFがプラス → 固定資産の売却などでキャッシュを生み出した  
 投資CFがマイナス → 固定資産の取得など、積極的に投資した

損益計算書 (要約)	
売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
(うち減価償却費)	(200)
営業利益	300
受取利息	10
支払利息	30
経常利益	280
税引前当期純利益	280
法人税等	150
当期純利益	130

  

貸借対照表 (要約)					
資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	15	仕入債務	500	-90
売上債権	1,800	-55	短期借入金	1,100	0
棚卸資産	500	50	長期借入金	700	0
土地・建物	1,200	20	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	10	利益剰余金	600	130
資産合計	4,100	40	負債・純資産合計	4,100	40

\*増減は対前期比



投資CFは？



土地・建物が+20なので、  
20の投資(固定資産取得)??



減価償却費も考慮して考える！



「固定資産に変動がなかった」と仮定すると...

土地・建物の増減額は -200 になっているはず！



220の土地・建物の取得(=投資)！

有形固定資産の取得支出 -220  
 投資有価証券の取得支出 -10  
**投資活動CF -230**

損益計算書 (要約)	
売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
(うち減価償却費)	②(200)
営業利益	300
受取利息	③ 10
支払利息	④ 30
経常利益	280
税引前当期純利益	① 280
法人税等	⑩ 150
当期純利益	130

  

①税引前当期純利益	280
②減価償却費	200
③営業外収益	-10
④営業外費用	30
⑤売上債権の増加額	55
⑥棚卸資産の増加額	-50
⑦仕入債務の増加額	-90
小計	415
⑧利息の受取額	10
⑨利息の支払い額	-30
⑩法人税等の支払い額	-150
★営業活動CF	245

  

貸借対照表 (要約)					
資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	15	仕入債務	500	⑦-90
売上債権	1,800	⑤-55	短期借入金	1,100	0
棚卸資産	500	⑥50	長期借入金	700	0
土地・建物	1,200	20	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	10	利益剰余金	600	130
資産合計	4,100	40	負債・純資産合計	4,100	40

\*増減は対前期比



借入金の増減なし  
配当金の支払なし  
**財務活動CFは0**

★3つのCFの和は  
245 - 230 + 0 = 15



3つのCFの和  
= 現金・預金の増減額



BSのすべての増減項目と  
PLの営業利益以降の項目を  
すべてチェック済みのはず

# CF計算書⑥

## 財務CF計算書

### 基本例題

## 【基本例題 CF計算書③】

Q. 営業活動によるCFと財務活動によるCFを求めよ。

売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
（うち減価償却費）	(200)
営業利益	300
受取利息	10
支払利息	30
経常利益	280
税引前当期純利益	280
法人税等	150
当期純利益	130

資産の部			負債・純資産の部		
	当期	増減		当期	増減
現金・預金	400	15	仕入債務	500	-90
売上債権	1,800	-55	短期借入金	1,100	-150
棚卸資産	500	50	長期借入金	700	-60
土地・建物	1,200	-200	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	0	利益剰余金	600	110
資産合計	4,100	-190	負債・純資産合計	4,100	-190

配当金の支払額は20だった

\*増減は対前期比

## 【財務CFの基本構成】

- ①短期借入れの収入 +
  - ②短期借入金の返済 -
  - ③長期借入れの収入 +
  - ④長期借入金の返済 -
  - ⑤配当金の支払額 -
- 財務活動CF**

借入金の増加は財務CFの増加要因  
借入金の減少 (= 返済) は財務CFの減少要因



配当金の支払は財務CFの分類で減少要因  
以上を合計して財務CFを求める



**財務CFがプラス** → 借入金を増やしてキャッシュを生み出した  
**財務CFがマイナス** → (キャッシュに余裕があったので) 借入金を返済した！

売上高	10,000
売上原価	8,000
売上総利益	2,000
販管費	1,700
(うち減価償却費)	(200)
営業利益	300
受取利息	10
支払利息	30
経常利益	280
税引前当期純利益	280
法人税等	150
当期純利益	130



財務CFは？



**借入金を返済** → 財務CFのマイナス要因！



**配当金の支払** → 財務CFのマイナス要因！



**配当金の支払はPLには表れない！**

※当期純利益を事後的にどう分配するかの話なので！

今回、130の利益のうち20を配当金、110を内部留保（利益剰余金）としている

資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	15	仕入債務	500	-90
売上債権	1,800	-55	短期借入金	1,100	-150
棚卸資産	500	50	長期借入金	700	-60
土地・建物	1,200	-200	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	0	利益剰余金	600	110
資産合計	4,100	-190	負債・純資産合計	4,100	-190

短期借入金の返済	-150
長期借入金の返済	-60
配当金の支払額	-20
<b>財務活動CF</b>	<b>-230</b>

配当金の支払額は20だった

\* 増減は対前期比

損益計算書 (要約)					
売上高	10,000	① 税引前当期純利益	280	短期借入金の返済	-150
売上原価	8,000	② 減価償却費	200	長期借入金の返済	-60
売上総利益	2,000	③ 営業外収益	-10	配当金の支払額	-20
販管費	1,700	④ 営業外費用	30	<b>財務活動CF</b>	<b>-230</b>
(うち減価償却費) ② (200)		⑤ 売上債権の増加額	55	投資CFは？	
営業利益	300	⑥ 棚卸資産の増加額	-50	減価償却費の分だけ	
受取利息 ③ 10		⑦ 仕入債務の増加額	-90	土地・建物の簿価が減っている！	
支払利息 ④ 30		<b>小計</b>	<b>415</b>	有価証券の動きもない！	
経常利益	280	⑧ 利息の受取額	10	<b>投資活動CFは0</b>	
税引前当期純利益 ① 280		⑨ 利息の支払い額	-30	<b>★3つのCFの和は</b>	
法人税等 ⑩ 150		⑩ 法人税等の支払額	-150	<b>245 - 230 + 0 = 15</b>	
当期純利益	130	<b>★営業活動CF</b>	<b>245</b>	<b>3つのCFの和</b>	
				<b>= 現金・預金の増減額</b>	

  

貸借対照表 (要約)					
資産の部	当期	増減	負債・純資産の部	当期	増減
現金・預金	400	15	仕入債務	500	⑦ -90
売上債権	1,800	⑤ -55	短期借入金	1,100	-150
棚卸資産	500	⑥ 50	長期借入金	700	-60
土地・建物	1,200	-200	資本金	1,200	0
投資有価証券	200	0	利益剰余金	600	110
資産合計	4,100	-190	負債・純資産合計	4,100	-190

配当金の支払額は20だった

\* 増減は対前期比

**重要!**

3つのCFの和  
= 現金・預金の増減額

**ポイント**

BSのすべての増減項目と  
PLの営業利益以降の項目を  
すべてチェック済みのはず